



医療法人社団 芙蓉会
ふよう病院

芙蓉ミオ・ファミリア町田
グループホームあおぞら
デイサービスふれあいルーム
千葉芙蓉病院
きやらの樹ケアセンター

芙蓉会社内報

やすらぎ

平成27年10月号

芙蓉会

理事長挨拶

医療法人社団 芙蓉会 理事長 四ヶ所 大

先日出席した介護業界の会合の際に、9月に報道された某有料老人ホームの虐待について、長時間にわたり意見交換をし、それぞれの事業者の代表が、志の高い意見を交わしました。

ご存知のとおり、当法人でも有料老人ホームを運営しています。そして、つい先日の10月3日に開催した、ご家族との懇談会においても、「先日の虐待事件については、大変関心を持っている。何か情報があったら教えて欲しい」と、ご家族から切実なご意見をいただいたこともあり、事業者の会合の際に「研修の実施と同時に、有料老人ホームに関連する、入居者及びご家族に対してのメッセージ発信をお願いしたい」と発言させていただきました。事業者側の研修のみでは、まだまだ充分ではないと感じており、また、自身の家族を入居させている方々にとって、事業者側の今後の取り組み方や、意識の変化などのメッセージが発信されなければ、安心できないと考えたからです。



この「虐待問題」については、以前からも様々な方面から指摘されていた事実があり、介護業界全体で取り組む事は必須です。このような問題が露呈された今こそ、改善に向けて動き出す良きタイミングと捉えて、当法人としても、志の高いスタッフの育成に、これからもより一層力を注いでゆきたいと考えております。

くもん学習療法を導入しました

広報室長 四ヶ所 文子

今年度初めから導入準備を進めておりました、「くもん学習療法」が、10月1日より有料老人ホーム／ミオ・ファミリア町田、グループホーム／あおぞら、デイサービス／ふれあいルームの3施設において開講致しました。学習療法は、社会福祉法人道海永寿会、東北大学の脳科学者・川島隆太教授、くもんの三者が共同研究した療法です。簡単な計算や読み書きなどを、スタッフとコミュニケーションを取りながら、スラスラと解くことで、脳の前頭前野の血流を促して活性化させ、認知症の症状を予防・改善するというもので、意欲やQOLの向上といった効果も併せて期待できます。

この学習療法の導入準備として、施設に関係するスタッフ全員が学習療法のサポーターにな

るための研修を受け、練習を重ねて参りました。また、導入施設に見学に行き、学習療法を受ける方々が、より効果的に、楽しい時間をお過ごしいただけるよう模索して参りました。

まだ導入月ではありますが、すでに、学習者の方々の楽しそうな音読の声、学習後の笑顔でのおしゃべりタイムの中で、初めて聞かせていただいたお話、初めは拒否して学習のテーブルに着こうとしなかった方が学習に取り組んでくださるようになったなど、日々、皆様の中に新しい発見をし、可能性を見つけることができ、スタッフの今後のケアへの参考と励みになっています。学習療法を、ひとつのコミュニケーションツールとして、学習者の皆様との間にさらなる信頼関係を築き、より良いケアにつなげて参ります。学習療法にご興味のある方は、ぜひお近くのスタッフまでお声かけください。

敬老祭りを開催

【1日目】

9月26・27日にふよう病院で敬老祭りが開催されました。前日までの雨で心配されていた天気も、当日は曇り空。出足こそ鈍り気味でしたが、徐々に来場者も増え、開始30分後には用意した約130人分の席が埋まるほどの盛況ぶりとなりました。

サプライズで始まったシンセサイザーの生演奏を楽しむ方々、演奏者を囲んで、手を叩いたり踊ったりする近隣の保育園児さん、模擬店でもらった綿あめやポップコーン、水風船などを両手いっぱい抱えて喜んでいらっしゃるお子様方、そして、そんな光景を微笑ましく眺める入院患者様や職員。三者三様にお祭りを楽しんでいただいて、ほのぼのとしたひと時になりました。

午後の特別講演会は「医療のための事前指示書・正しい看取りの確認」と題して、箕岡先生の「私の四つのお願い」「正しい看取りの意思確認」など著書多数から、具体的な例を挙げたお話をいただきました。講演に参加された方から「自分の親を看取った時はこのような話を聞く機会もなく、胃ろうを選択したが、それが正しかったのかは今でも疑問だ。自分の時はきちんと残しておきたい」

という声も聞かれました。皆様がご家族と話し合うひとつのきっかけとなれば幸いです。

【2日目】

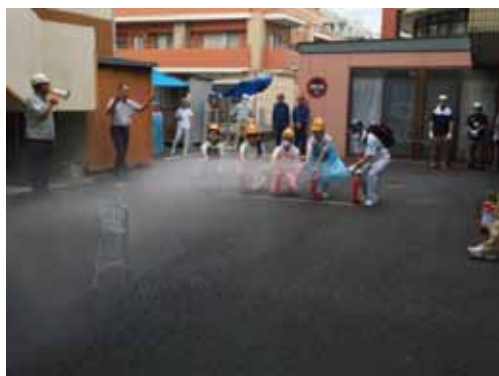
芸能パレードと題して、『東池袋ぶる一す』でお馴染みの歌手「林るり子」さんをお招きし、懐かしのメドレーを11曲披露していただきました。《ふるさと》《リンゴの唄》《港町十三地》《四季の歌》などは、歌詞カードを用意して、皆で一緒に歌う場面もあり、中には林さんに手を握ってもらって涙する患者様も。あっという間の楽しい1時間でした。



芙蓉会合同防災訓練実施

9月3日（木）町内会・関連施設が参加して合同防災訓練を実施致しました。今回は南関東を震源とする直下型地震M6.5（強）を想定した訓

練です。緊急伝達訓練や要救助者等のトリアージ、消火器や屋内消火栓の実践、炊き出しも行い実践しながらの訓練をすることができました。



院内職員研修会報告「接遇ロールプレイング」

7月開催 発表者：B棟2F B棟3F

1. テーマ

- B棟2F 看取り時の対応
B棟3F 持ち込みしたいご家族様への対応

2. 内容

- ① 上記のテーマで場面設定をしてロールプレイング
- ② グループワーク
- ③ 感想を発表

3. 意見

B棟2Fの発表に対して

- ・病棟の患者様が亡くなった時の流れを、今回の発表で初めて知った。知る機会を与えてくれるような題材でとても良かった。
- ・院長先生が参加してくださって良かった。現実味があった。
- ・葬儀社の紹介方法が、もっと詳しくても良かったのではないかと。
- ・常に相手の気持ちに立って考えようと、ロ

ールプレイングを見て思った。

B棟3Fの発表に対して

- ・ご家族の希望に対し、ひとつひとつ確認して答えるのが良かった。
- ・看護師の説明の仕方が詳しくて良かった。
- ・生花は駄目、お寿司は駄目だけでなく、その理由をもう少し詳しく、これだったら大丈夫という案を提示しても良いと思う。

4. 総評

今回のロールプレイングは、日々業務の中で発生し対応はしているが、いずれも難しいテーマだった。

今回のようなテーマこそ、ロールプレイングで他の職員の対応を客観的に見ることによって、普段何気なくしている自分たちの対応の問題点が浮かび上がるのだと思う。このような研修を重ね、日々の患者様、ご家族様への対応が向上していくように努力していきたい。



院内職員研修会報告「セクシャルハラスメント・パワーハラスメント防止のために」

9月開催 講師：内藤社会保険労務士事務所 内藤 剛識

近年、ハラスメントに関する報道等を耳にすることが多く問題になっている。当法人においても、ハラスメントのない働きやすい職場づくりのために研修会を実施した。

【ポイント】

- ① セクハラにならないためのポイントは、「不快な言動と感じるか否かは個人差が大きく関わってくるため、普段からのコミュニケーションの取り方に注意すること」。
- ② パワハラにならないためのポイントは、「感情的な行動をとらないことや、人格の否定、性格の非難はしない。具体的な行動に焦点をあてた指導方法や相手のレベルにあわせた指導スタイル等を実践すること」。これで、パワハラと思われることは減少する。



花火

8月24日(月)夕方からパーキングで花火をしました。数日前から天気予報で台風の接近が伝えられ、「延期」か「開催」か、当日まではっきりしないお天気でしたが、無事に開催することができました。花火が終わると、もう夏も終わりです。



敬老会

9月21日(月)敬老の日。ご昼食には、お赤飯のお祝い膳をご提供しました。ミオ・ファミリアでは、敬老会を開きました。ポップコーン作りや、じゃんけんゲームをしたり、歌を歌ったり、楽しいひとときを過ごし、スタッフ一同、ご入居者皆様のご健康とご長寿をお祝いさせていただきました。



敬老祭り

9月26日(土)医療法人芙蓉会の敬老祭りが行われました。雨の予報がかわって陽も薄っすらと射し、無事に予定通り行うことができました。近隣の皆様にも多数来ていただきました。

ヨーヨー釣り、ひかるダイヤ指輪にイガイガ君ヨーヨー等で遊び、ポップコーン、わたあめ、アイスキャンディー、飲み物をもらって、持ちきれず、困った笑顔をたくさん見ることができました。お菓子の抽選会では、特等、1等賞の当たった方はミオが多かった気がするの、気のせいでしょうか。

9月27日(日)医療法人芙蓉会で、芸能スターパレードが行われました。ステキな衣装の演歌歌手の歌声に、皆様聞き入っていらっしゃいました。



着任のご挨拶

グループホームあおぞら ホーム長 盆子原 一成

10月1日より、グループホームあおぞらのホーム長をさせていただいております盆子原一成（ボンコバラ カズナリ）と、申します。訪問介護のヘルパーから始まって、かれこれ12年、介護の仕事にたずさわって参りました。

グループホームは、認知症の方達の日々の生活をサポートする施設で、毎日の暮らしだけではなく、地域の方々との交流を図り、地域に根づいたサービス提供をすることを義務づけられるなど、介護保険の中でも独特のサービスを行っています。私は、この仕事をしていく上で、「介護」とは、お客様のプライバシー（入浴や排泄の介助等）に介入して、その方の命と生活を護る仕事であると教わって参りましたが、この、「家庭生活の延長」の位置づけにあるグループホームこそ、まさにその「介護」を実践していく場だと考えています。



法人の創設者である四ヶ所ヨシが掲げた「老人は国の宝」の言葉を忘れることなく、ご入居されている方達と、そのご家族様に、幸せなお時間を過ごして頂くことが使命と思い、業務に励んでまいります。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

夏の楽しみ

今年も暑かった夏。ご入居の皆様は、夏バテすることなくお元気に過ごされていましたが、あまりの暑さで、日課になっている買い物や散歩に出かける機会が少なくなり、少し物足りなさを感じるものがあつたかもしれません。そこで、そんな物足りなさも解消するべく、原町内会さんの盆踊りに参加させていただきました。さっそく盆踊りの輪に入り、馴染みの炭坑節など、皆様それぞれの踊りで楽しむご様子が。原町内会の皆様、ありがとうございました。



もうひとつの楽しみ

座間のひまわり畑。あまりの気持ち良さに、5人で手をつないで、土手を登って行ってしまった場面も。

お昼前、帰りの車中では、食べ物のお話で盛り上がり、和菓子屋の看板を見かけた方が「酒まんじゅうだって。買って行こうよ!」と言い出しました。車は急には停まれず、あわててUターン。お蔭様で、できたてふわふわの酒まんじゅうをいただくことができました。



夏祭り

8月5日（水）の午後、夏祭りを開催しました。部屋中に、ご利用者様みんなで作った提灯をぶら下げ、体験実習に訪れた中学生2名とスタッフは浴衣や半被を着用し、夏祭りの雰囲気を出しました。

かき氷、たこ焼き屋、ヨーヨー釣り、スーパーボールすくい、くじ引き等、たくさんのコーナーを設け、皆様チケット片手に笑顔で並び、

楽しまれていました。

ボランティアの方にも参加していただき「一週間に十日来い」の歌に合わせて、おかめとひよっとこの踊りを披露していただき、拍手喝采を浴びていました。

「炭坑節」や「東京音頭」「阿波踊り」等盆踊りも行い、にぎやかな夏祭りを無事に終了しました。



収穫の楽しみ ゴーヤ、キュウリ編

ご利用者様に水やりをしていただいで育てた野菜。皆様、ずっと収穫を心待ちにしていらっしゃいました。

そして、苗を植えてから2カ月が経過し、念願の収穫日。今年は天候不順もあり、前年より

小さめのゴーヤが目立ちましたが、ご利用者様に下処理をお手伝いしていただき、ゴーヤおひたしで試食しました。キュウリは浅漬けでいただきました。ご自分で育て、収穫した野菜は格別の味がしますね。



フラワーアレンジメント

毎月恒例で、フラワーアレンジメントを開催しています。スタッフが色合いを考えて花を購入し、それを皆様がバランス良く自由にアレンジされていきます。フラワーアレンジメントは、目で花を愛で、手で花を触り、芳しい花の香りに満たされて五感を使って楽しむので、介護予防に役立つとも言われています。これからも継続的に行いますので、ぜひご参加下さい。



ボランティアによるレクリエーション

9月12日(土)町田福祉レクリエーション研究会所属のボランティア、飯坂さんが、手品の「南京玉すだれ」などを披露してくださいました。また、9月16日(水)に行われた、ボランティアの上妻さんによるピアノコンサートも恒例で

す。毎月のコンサートを楽しみにされているご利用者も多くいらっしゃいます。今回は秋をテーマに15曲ほど演奏してくださいました。皆様の笑顔がたくさん見られるこういう機会を、今後も増やしていきたいと思っております。



学習療法 導入

10月より、認知症の予防及び維持・改善を目的とする「学習療法」を導入しました。

「学習療法」とは、脳科学者の第一人者である東北大学の川島隆太教授をリーダーとする共同研究チームが、読み書きや簡単な計算とコミュニケーションが、認知症状の維持・改善に効果

を上げると定義されています。スタッフとセミプライベートで楽しく学習していきます。

導入時期、実施方法、費用等詳細については別途ご案内させていただきました。まだお申込みでない方は、ご検討のほどよろしくお願い致します。

One Point advice 薬の飲み方

内服薬を服用する際、できる限り上半身を起こして、多めの水で服用することが大切です。薬の一部、特に解熱鎮痛剤、抗生剤等の刺激性のある薬剤が食道にとどまってしまうと、食道潰瘍を引き起こす危険性があるからです。

薬は、医師の処方通り、正しく服用し、飲み忘れのないようにしましょう。もし薬を飲みにくい場合は、とろみ剤を入れ、水またはお湯で混ぜて服用してみましょう。

食前	食事の30分くらい前
食直前	食事の5~10分くらい前
食後	食後30分くらいまで
食間	食後2、3時間
眠前	寝る30分くらい前



看護職 三浦真貴子

秋の壁面装飾ギャラリー

ふれあいルームでは、季節感のある壁画を、毎回ご利用者様と一緒に制作しています。秋らしく紅葉したもみじとイチョウは、なんと広告誌から作られています。形を描いた広告誌を、皆様に一つひとつ丁寧にハサミで切り取っていただき、ちりばめました。黒の背面に鮮やかな色彩が映えますね。



ふれあいルーム 利用日のご案内 通所介護・認知症対応型

月曜～土曜日、祝祭日（日曜休み） 9：15～16：30

医療法人社団芙蓉会 ふれあいルーム

〒194-0004 東京都鶴間 544-2

Tel 042-788-3302 Fax 042-788-3309

敬老会

今年の“シルバーウィーク”は5連休。そんな中、例年どおり敬老会を開催いたしました。

たくさんのご家族の出席をいただき、会場のリハビリ室は椅子も足りなくなるほど満員の大盛況。実行委員が工夫を凝らした飾りつけや、紅白の垂れ幕・バルーンアートが会場を彩り、華やかな雰囲気に包まれて、会は進行しました。

あおぞら保育所の子供たちのかわいいダンスを目にして、皆様の笑顔がこぼれました。ボランティアの方の歌やお話も楽しく、普段と違ったにぎやかな時間を過ごすことができました。

最後に患者様から、「本当にここの職員はよくやってくれる」とお褒

めの言葉をいただいた時は、職員一同、誇らしい気持ちでいっぱいでした。回復して退院するだけではない高齢者医療ですが、お言葉を励みに、人生の先輩を敬う気持ちを忘れることなく努めていきたいと思いました。



床屋のボランティアさん

2ヶ月に1度来てくださる、理髪のボランティアさんをご紹介します。地元の美容院・理髪店の方たちが集まったグループ「ハッピー」の皆さんです。

お店の定休日の第3火曜日に、8人前後の方々がいらして、1日かけて、80人以上の患者様の髪を切ってくださいます。その上なんと、費用は無料。その日を待ちどおしく思っている患者様も多く、毎回本当に頭が下がる思いです。

皆さん、明るく元気な声で、患者様一人ひとりに話しかけながら、あっという間に髪をカットしてくださいます。伸びた髪がさっぱりスツ

キリすると、患者様も本当にうれしそう。スタッフ一同も感謝の気持ちでいっぱいです。いつもありがとうございます。



納涼祭

8月21日（金）は残暑厳しい折、それでも夕刻は涼しい風がそよいでいました。4階屋上の指定席に、うちわを手にした79名のご利用者様が着き、嶋田施設長よりご挨拶をいただき、納涼祭がスタート。皆様、食事サービス部手作りの軽食やかき氷を召し上がりながら、和太鼓の音頭にくぎづけになっていらっしゃいました。音が身体中に響き、無礼講のビールが喉を通り、

何とも言えない、格別の夏の夜を演出してくれました。

炭坑節の音楽と和太鼓の音頭が流れて、踊りの輪ができてくると、職員の誘いに応じて、ご利用者様もリズム良く踊られます。フィナーレの花火大会では、花火が空に向かっていく音に耳を傾け、夜空に咲いた色々な花を見ては、歓声が上がっていました。

